

経済事情E 第12回「企業と生活者をつなぐ」

日時：2015年6月25日(木) 15:10～16:40

場所：関西学院大学 経済学部本館

参加者：関西学院大学経済学部、社会学部、兵庫医科大学学生(経済学部3回生が中心)約80名

関西支部会員の鉄田 由美さんが、講義を行いました。

経済学部経済事情E(全14回講座)の1講座で、「企業と生活者をつなぐ」をテーマに、より良い消費生活を目指して企業の取り組みを紹介しました。

<授業内容>

1. 日本ヒーブ協議会について
2. 企業と生活者の関係の変化
3. 事例をヒーブ視点(複数の視点)で考察する
4. 生活力アップにむけて (ヒーブ資料より)
5. 日本ヒーブ協議会「お客様の声を活かした取り組み55事例」
改善事例紹介、お客様の声を活かすことの意義



☆いただいた感想のご紹介☆

- ・ 消費者問題は私たちの声から改善できるものがあるという事を感じた。つまり、私たちの疑問や感じたことを伝える場所があるならば、私たちは積極的に声を発するべきであると思った。
- ・ 複数の視点から物事を考察するという点が消費者問題を学ぶ上で必要なことだと思った。
- ・ 企業が消費者の意見をどのように、商品やサービスに反映しているか良く理解することができた。